

A：十分に達成できている状況 B：概ね達成できている状況 C：どちらかといえば達成できていない状況 D：ほとんど達成できていない状況

教育目標	重点目標	学校評価実施項目	学校評価質問項目			アンケート結果【肯定的意見の割合(%)】									自己評価			学校関係者評価						
			教職員	生徒	保護者	教職員			生徒			保護者			R7 R6 R5			R7 R6 R5	R7 R6 R5	評価	意見(学校運営協議会委員)			
						R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5										
生徒の主体的な学びを基盤とした学力の育成	①学力の向上(教務部)	プロジェクト等ICT機器を用いて、生徒の理解を深める学習活動が行われていると思いますか。	プロジェクト等のICT機器を用いて、生徒の理解を深める学習活動が行われていますか。	各教科で出される課題は、お子様の基礎学力を定着させるのに適切なものですか。	各教科で出される課題は、お子様の基礎学力を定着させるのに適切なものだと思いますか。	100	97	100	96	93	95				A	A	A	■ICT端末を活用した授業が定着しつつあり、生徒への授業アンケートからは学習した内容の見直しに取組みやすい等の肯定的意見が見られる。今後も継続してICT活用を推進したい。	A	【委員】 今後はAIを活用した授業プログラムの作成に取り組んで行けば、学力の向上とともに、先生が興動となくとも同じレベルでの授業が可能になるかと思えます。 【委員】 ICT端末が活用され、それぞれの評価を見て高い数値となっており、学力向上につながる取組みとなっている。				
		②家庭学習(教務部)	各教科で出される課題は基礎学力を定着させるのに適していると思いますか。	各教科で出される課題は、お子様の基礎学力を定着させるのに適切なものだと思いますか。	各教科で出される課題は、お子様の基礎学力を定着させるのに適切なものだと思いますか。				88	86	95	85	90	92	A	A	B	■第2回学習時間調査(11/6～12)によると1年～3年生の学習時間は50分程度/日。 ○商業科は今後も検定試験を中心に生徒を成長させていく。普通科は模擬試験の目標設定 → 各教科の目標設定 → そのために必要な学習を自分で考え取り組ませる等、授業に必要な学習に加えて、大学入試等、自らの進路実現に関わる学習への取組みもさらに意識させたい。	A	【委員】 AIを活用した学習プログラムを作成することによって、家庭での学習時間が伸びると思えます。 【委員】 隠岐高において、島外の生徒と同じような学校外(塾)での勉強ができるか否かは重要かと思われる。				
		③読書活動(教育研究部)	企画展示(出張図書館など)や図書館だより、図書館を利用した授業などは、本に親しむことや図書館利用向上につながっていると思いますか。	企画展示(出張図書館など)や図書館だより、図書館を利用した授業などは、本に親しむことや図書館利用向上につながっていますか。	企画展示(出張図書館など)や図書館だより、図書館を利用することにつながっていると思いますか。							82	89	100	61	67	65	65	60	77	B	■授業時に積極的に図書館を活用した取組みもあったが、学校司書が不在であったことあり、充実した活動を実施して行うことができない。 ○人員の効果的な配置を行うとともに、総合的な探究の時間、大学入試の総合型選抜対策等のための書籍を整備し、図書館の有効な活用を推進したい。	B	【委員】 司書が居ないということで図書館の利用が少ないのであれば、蔵書リストを活用して、AIによる推薦図書一覧などが見られるシステムの開発ができないだろうか。 【委員】 インターネットの普及もあり、生徒に本に触れてもらうことは難しい課題である。町立図書館でも若い方の利用促進を課題としており、協働できる取組みを考えて行くのも良い。
	健康で、確かな学力を人間力を育むこと、未来を拓く、自立した生徒を育成する	④進路実現(進路指導部)(学年部)	模試や各種検定試験は、進路実現のための学力把握や学習意欲向上につながっていると思いますか。	模試や各種検定試験は、進路実現のための学習意欲向上や学力向上につながっていると思いますか。	模試や各種検定試験は、お子様の進路実現のための学力把握や学習意欲向上につながっていると思いますか。				96	100	93	91	86	89	90	90	96	A	A	A	■(進路・3年部) 概ね肯定的な評価であった。生徒面談や保護者との連携を丁寧に行い、安心して進路実現に向かうことのできる環境づくりを今後も継続していきたい。(2年部) 進路指導部と協力し、科目選択説明会の実施のほか、大学入試等に向けた効果的な模試の活用方法について説明した。 ○(2年部) 模試の復習方法等についてより具体例を示しながら生徒に提案したい。	A	【委員】 それぞれが肯定的な評価としており、引き続き進路実現に向かうための環境づくりによりしっかりと取り組んでいきたい。	
			⑤キャリア教育(進路指導部)(教育研究部)	進路講演会や進路説明会(進路ガイダンス)、各種体験学習(看護・教諭)などのキャリア教育は、生徒の自己実現を支援するものとなっていると思いますか。	進路講演会や進路説明会(進路ガイダンス)、各種体験学習(看護・教諭)などのキャリア教育は、生徒の自己実現を支援するものとなっていると思いますか。	進路講演会や進路説明会(進路ガイダンス)、各種体験学習(看護・教諭)などのキャリア教育は、お子様の自己実現を支援するものとなっていると思いますか。				96	97	93	91	92	91	97	96	92	A	A	A	■(進路) 概ね肯定的な評価であった。教師等の取組みは、島根大学や町内の小学校との連携を体制的に充実した活動を行うことができた。 ○(進路・教育研究) 生徒の進路志向に沿ってキャリア教育を充実させるだけでなく、生徒のキャリアに対する視野を広げる取組みもより充実させたい。	A	【委員】 有木小学校での放課後先生をはじめとしたキャリアアップを図る活動の場は、外部からも非常に評価も高く有効な手段である。さらに充実させていただきたい。 【委員】 現場重視で体験させるのは素晴らしい、各小学校でもしてもらいたい。
			⑥情報発信(総務部)(学年部)	ホームページの更新や学校だより「尼寺原」(年6回、町内回覧)などの情報発信は、地域の方への情報提供として十分なものとなっていると思いますか。	ホームページの更新や学校だより「尼寺原」(年6回、町内回覧)などの情報発信は、地域の方への情報提供として十分なものとなっていると思いますか。	ホームページの更新や学校だより「尼寺原」(年6回、町内回覧)などの情報発信は、地域の方への情報提供として十分なものとなっていると思いますか。				92	89	86	96	90	87	84	85	84	A	A	A	■(総務) 保護者の評価と教員の評価に差がある。学校側は十分な情報発信を行っていると考えているが、保護者の欲しい情報が手に入っていない可能性がある。 ○(総務) 保護者が求めている情報について面談等の聞き取りにより情報収集を行い、改善していく。	A	【委員】 SNSなども活用して積極的に情報発信をしており、良いと思います。今後も引き続き学校の様子などの動画配信をお願いいたします。 【委員】 SNSを活用した情報発信は充実していますが、隠岐ジオパーク研究員発表会やSHIMANEみらい共創CHALLENGEでの入賞の情報、吹奏楽部の金賞受賞など隠岐高校の様々な活躍の場をホームページ上で訴求していくといいと思います。
	地域との協働による魅力の推進	⑦保護者との連携(総務部)(生徒指導部)(学年部)	学校行事やPTA活動の案内、奨学金制度、学校保険(P.T.A.総合保険)に関するなどは、保護者と学校との連携として十分なものとなっていると思いますか。	学校行事やPTA活動の案内、奨学金制度、学校保険(P.T.A.総合保険)に関するなどは、保護者と学校との連携として十分なものとなっていると思いますか。	学校行事やPTA活動の案内、奨学金制度、学校保険(P.T.A.総合保険)に関するなどは、保護者と学校との連携として十分なものとなっていると思いますか。				96	93	89				84	81	86	A	A	A	■(総務) P.T.A.総会を参加しやすいように平日の夕方を実施している。保護者対象の進路セミナー開催時には、受験に伴う費用等についての情報提供をおこなった。また、保護者向けの土曜学校奨学金説明会を開催した。 ○(総務) P.T.A.総会へ参加しやすい環境を整え、参加者を増やしたい。学費や奨学金制度等については、引き続き情報提供の機会を増やしていきたい。	A	【委員】 連絡事項については、紙ベースではなくLINEなどの連絡網を利用して配信することによって、保護者との距離も近くなるのではないだろうか。 【委員】 保護者が参加しやすいような取組みがなされている。	
			⑧教育の魅力化(教育研究部)	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や隠岐ジオパーク研究発表会(2年)、3年CEOLISMの活動(ヒーチャリオンなど)、関西研修旅行(2年)は、魅力ある教育活動になっていると思いますか。	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や隠岐ジオパーク研究発表会(2年)、3年CEOLISMの活動(ヒーチャリオンなど)、関西研修旅行(2年)は、魅力ある教育活動になっていると思いますか。	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や隠岐ジオパーク研究発表会(2年)、3年CEOLISMの活動(ヒーチャリオンなど)、関西研修旅行(2年)は、魅力ある教育活動になっていると思いますか。				92	85	93	87	91	94	82	90	91	A	A	A	■ジオパーク研究を中心とした取組みを中心に魅力化を進めているが、島内外生徒募集につながっていないのが課題である。 ○魅力の再定義や再開発が必要である。入学者の減少が続けば、学校の存続が危ぶまれる状況を今一度学校全体で共有し、課題を少しずつ克服していく必要がある。	A	【委員】 ジオパークを活用した取組みの情報発信をすることによって、生徒募集につながるのではないかと考えているが、その出し方を再検討すべきと思えます。 【委員】 自己評価にもあるとおり生徒募集につながることでできていないことは大きな課題である。
			⑨地域と連携した信頼される学校づくり(教育研究部)	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や地域ボランティア(個人、部活動)への参加や図書館開放などにより、地域との関わりが深まっていると思いますか。	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や地域ボランティア(個人、部活動)への参加や図書館開放などにより、地域との関わりが深まっていると思いますか。	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や地域ボランティア(個人、部活動)への参加や図書館開放などにより、地域に開かれた学校づくりにつながっていると思いますか。				92	86	97	91	87	95	88	86	89	A	A	A	■図書館開放については、学校司書が不在であったことあり、充実した活動を継続して行うことが難しい。ジオパーク研究等では、地域住民の方々の関わりをのぞき、充実した教育活動を展開することができた。 ○地域との連携については、生徒のボランティア活動等への参加など図書館開放以外の取組みを中心に充実させたい。	A	【委員】 隠岐高校の取組は地域の方からも高い評価を得ていると思えます。 【委員】 引き続き、地域に向けた発信を行い、信頼される学校づくりに取り組んでいきたい。 【委員】 地域との関わりをさらに深めるよう、現状、今までの振り返りをして次に踏み出して欲しい。
人権意識の醸成と安心できる学びの場の育成	⑩基本的な生活習慣・道徳教育(生徒指導部)	教室や身の周りの整理整頓や貴重品の管理、服装、スマホ、交通安全などの指導は、基本的な生活習慣や生活態度、社会性が身に付くものとなっていると思いますか。	教室や身の周りの整理整頓や貴重品の管理、服装、スマホ、交通安全などの指導は、基本的な生活習慣や生活態度、社会性が身に付くものとなっていると思いますか。	教室や身の周りの整理整頓や貴重品の管理、服装、スマホ、交通安全などの指導は、お子様の基本的な生活習慣や生活態度、社会性が身に付くものとなっていると思いますか。				85	83	62	87	85	87	89	86	79	A	A	A	■教室の整理整頓、施設、生徒の持ち物管理については日頃から生徒への働きかけをしており、生徒が落ち着いて学習等に取り組める環境整備が進んだ。今後も引き続き、状況を確認しつつ働きかけを継続する。生徒間のより良い関係構築に向け、全校集会や学級にて、他者との適切な関わり方やSNSの適切な使い方について生徒に伝えたい。生徒会や各種生徒会委員会の活動も進め、より良い学校生活のために必要なことを生徒が参画し検討する機会をもった。 ○生徒の安心・安全な学校生活について、生徒・保護者の意見や地域の状況等をふまえて内容を確認しながら、必要に応じて見直しや改善を進める。	A	【委員】 学校を訪問した際には挨拶もきちんとする生徒も多く、良いと思います。 【委員】 生徒・保護者と連携し、校則の見直しに取り組まれていることなど意欲改革に繋がっていくものと思われる。 【委員】 社会人になっても、各学会で整理整頓が重視されている。これがすべての生活に関係する。		
		⑪人権意識(生徒指導部)	人権教育ホームルーム活動(年3回)や講演会(年1回)は、あなた自身や他の人の人権を尊重する意識・意欲・態度を育てるものとなっていると思いますか。	人権教育ホームルーム活動(年3回)や講演会(年1回)は、あなた自身や他の人の人権を尊重する意識・意欲・態度を育てるものとなっていると思いますか。	人権教育ホームルーム活動(年3回)や講演会(年1回)は、お子自身や他の人の人権を尊重する意識・意欲・態度を育てるものとなっていると思いますか。				93	97	83	90	88	88	88	90	92	A	A	A	■人権教育ホームルーム活動では、各学年で現状・課題をふまえた学習テーマを設定し、計画的に授業実践・振り返りを行った。人権教育講演会においても、様々な背景を抱えた人々が共に生きる社会で人権尊重が大切であることを生徒が理解し、学校生活などにも活かそうとする意欲を高めることができた。 ○生徒が良好な人間関係を構築できるようにするため、生徒の実態や課題に応じたホームルーム活動を計画的に実施する。今後も生徒の人権意識向上のために、人権教育に関わる取組みを行う。	A	【委員】 人権意識は生涯にわたって必要な取組みであり、生徒が理解を深めることができていることは素晴らしい成果だと思います。	
		⑫生徒理解・教育相談(学年部)(生徒指導部)	「いじめに関するアンケート」(年3回)や生徒面談(およそ学期に2回)、スクールカウンセラー事業などは、生徒一人一人を理解・支援するものとなっていると思いますか。	「いじめに関するアンケート」(年3回)や生徒面談(およそ学期に2回)、スクールカウンセラー事業などは、生徒一人一人を理解・支援するものとなっていると思いますか。	「いじめに関するアンケート」(年3回)や生徒面談(およそ学期に2回)、スクールカウンセラー事業などは、お子様を理解・支援するものとなっていると思いますか。				96	100	100	96	91	89	91	86	89	A	A	A	■(生徒指導) いじめの定義や人権尊重について生徒の理解を進めるとともに、アンケートや生徒面談等で把握した状況をもとに、学校として組織的に対応している。教育相談については、中学校担任、新入生保護者の情報提供をもとに職員会議で情報共有を行い新年度会をスタートした。また、定期的な教育相談委員会を行い支援策を検討・共有し、日頃の学習指導等に活かす取組みを行った。 ○(生徒指導) 定期で相談委員会の開催を目指しているが、委員全員が参加しにくい現状がある。参加できない方については、記録を回覧するなどで情報共有し、アドバイスもらえるようにするなど教員が協力し生徒の支援を検討できるよう取り組んでいきたい。 ■(2年部) 各学期に1回以上の生徒面談を実施した。その他、必要に応じて個別の面談を行った。 ○(2年部) 担任以外との教員とも面談する機会を設ける。	A	【委員】 生徒より肯定的な評価がされており、取組みの成果がでている。 【委員】 いじめは深い事業であり、アンケートは大切である。	
学校全体で取り組む働き方改革の推進	⑬新型コロナウイルス感染症防止対策(生徒指導部)	新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどの感染防止対策が生徒一人ひとりの意識の向上につながっていると思いますか。	新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどの感染防止対策が生徒一人ひとりの意識の向上につながっていると思いますか。	新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどの感染防止対策がお子様の衛生意識の向上につながっていると思いますか。				88	82	79	87	80	69	83	77	84	A	A	A	■感染症流行の兆しが見られた際には、朝礼や保健だよりで適宜注意喚起を行った。生徒保健委員会の発案により、学園祭準備期間中、清掃時の放送に併せて予防の呼びかけの放送を行った。学級閉鎖等は無かったが、年間を通して感染症が発生しており、1人1人が予防を意識し、主体的に対策ができるようにする取組みが求められる。 ○教職員間で県内、町内の感染症の流行状況の共有及び感染対策の検討を行い、今後も適切な感染対策を講じていく。また、生徒が感染予防に関心を持ち、主体的に感染対策に取り組むことができるよう、生徒発達の啓発活動も充実させていきたい。	A	【委員】 現状でよいかと思えます。		
		⑭学校満足度(教員)	学習活動や部活動、資格取得、良好な人間関係の構築、規範意識の育成、進路実現など様々な面において、隠岐高校へ進学してよかったと思えますか。	学習活動や部活動、資格取得、良好な人間関係の構築、規範意識の育成、進路実現など様々な面において、お子様が隠岐高校へ進学してよかったと思えますか。	学習活動や部活動、資格取得、良好な人間関係の構築、規範意識の育成、進路実現など様々な面において、お子様の満足度を高めることができたと思えますか。							91	90	92	94	90	94	A	A	A	■学校からの情報提供の方法、探究学習のあり方や進め方について特に多くの意見をいただいた。 ○情報発信については今年度の取組みを振り返り、よりよい発信のあり方をさらに検討する。探究学習等のあり方については、学習の意義や目的をより明確に生徒自身に理解させるとともに、保護者や地域にも情報発信によって発信を理解していただくようにしたい。	A	【委員】 生徒も保護者の方の評価も高いという事は良いことではないでしょうか。この満足度の高さが、生徒募集につながっていないところに歯がゆさを感じます。 【委員】 たくさんのご意見をいただいたという点で、一層保護者との協働を進めたいと考えています。 【委員】 意義、目的を生徒に理解させるだけでなく、生徒に歩み寄ることはできないか。	
		⑮意識改革(教員)	管理職、各分掌長、主任のリーダーシップのもとで業務の効率化が図られ、時間短縮の意識につながっていると思いますか。	管理職、各分掌長、主任のリーダーシップのもとで業務の効率化が図られ、時間短縮の意識につながっていると思いますか。	業務の効率化が図られ、時間短縮の意識につながっていると思いますか。				93	79	79							A	A	A	■時間外勤務時間/月は45時間を下回るように呼びかけ、年度末にかけて時間外勤務時間は減少傾向である。 ○業務を複数のスタッフで担当するなど、可視化と共有化を図り、特定の担当者の不在時にも業務が滞らない体制を構築することを目指す。	A	【委員】 時間外勤務が減ることは、集中した業務とやる気を引き起こすことにもなりますので、引き続き高い評価を得られるようにお願いします。 【委員】 時間外削減の取組みが結果に表れている。 【委員】 働き方の効率化の見直しで教育に時間をつづけていかねばならない。	
⑯環境整備(教員)	机の取得、校舎・寮の施設設備の改善(LED化、特別教室のエアコンなど)、調音環境の美化(整理整頓・毎日の清掃など)により動きやすい職場環境になっていると思いますか。	机の取得、校舎・寮の施設設備の改善(LED化、特別教室のエアコンなど)、調音環境の美化(整理整頓・毎日の清掃など)により動きやすい職場環境になっていると思いますか。	机の取得、校舎・寮の施設設備の改善(LED化、特別教室のエアコンなど)、調音環境の美化(整理整頓・毎日の清掃など)により動きやすい職場環境になっていると思いますか。				93	86	86							A	A	A	■年次休暇の取得や勤務の調整・代休を利用する職員は年度の後半にかけて増加した。また勤務規律研修を通じて、生徒・職員として安全・安心な学校づくりについで深く考え、それぞれの取組みにつながることができた。 ○今後も職場環境の整備に努めるとともに業務の効率化を図り、生徒と向き合う時間を確保することで教育活動をより充実させたい。	A	【委員】 引き続き高い評価を得られるようにお願いいたします。 【委員】 昨年度より休暇の取得率も向上するなど働きやすい職場環境の整備に努められている。			